

DUET

デュエット

2024.4
VOL.33

GUIDE DOG
MAGAZINE



特集

盲導犬の訓練について知ろう！
～合言葉は“Good!”～

寄附金控除の対象になります

DUETサポーター

継続的にご支援を
いただく寄附制度です



盲導犬の育成普及事業を
継続的にご支援いただく
寄附サポーター制度です。
ご支援いただく方法は
クレジットカード・
郵便振替・銀行振込より
お選び頂けます。



募金箱設置店も
募集中

月1 サポーター (毎月)	クレジットカード限定 500円 / 1,000円
サポーター (年1回)	クレジットカードがおすすめ 3,000円 / 5,000円 / 10,000円
法人サポーター (年1回)	50,000円

クレジットカードでのご寄附(※)は
こちらから
(※)お持ちのパソコン・スマートフォンから
お申込手続きが必要です。



まずは、お気軽にお電話ください。 /

☎03-5367-9770

DUET

2024年4月発行 編集人/篠田 林歌 認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 発行
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階
TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp

年1回4月発行

訓練ってどんなことをするの?

盲導犬の訓練には、「基本訓練」、「誘導訓練」、「共同訓練」の3つがあります。

まずは「稟性(ひんせい)評価」という、その犬の元々持っている性格(稟性)を知るための評価をします。これにより、一頭一頭の個性や特性を把握しその犬に合った方法で訓練をしていきます。

私たちは1歳になると、パピーウオーカー(子犬を飼育するボランティア)の家庭から盲導犬協会へ戻り、訓練が始まります。

訓練の種類



基本訓練

基本訓練とは、犬に指示を出し、その指示通りの動作をさせる基礎的な訓練です。

基本となる「シット(すわれ)」「ダウン(ふせ)」などの指示語をはじめはおもちゃなどを使いながら、遊びを通して教えていきます。なにより、犬とのコミュニケーションを通じて、信頼関係を築いていきます。

誘導訓練

盲導犬の仕事は、基本的に「角で止まる」「段差で止まる」「障害物を避ける」、この3つの動作を組み合わせ、ユーザーが安全に道を歩けるように手助けをすることです。

誘導訓練では、段差や交差点を知らせたり、障害物を回避するといった、視覚障害者を安全に誘導するための訓練を行います。

共同訓練

基本訓練・誘導訓練を経て、盲導犬を希望する視覚障害者と盲導犬としての適性を認められた訓練犬が一緒に行う訓練を「共同訓練」と呼んでいます。

特集

盲導犬の訓練について知ろう! ～合言葉は“Good!”～



「盲導犬の訓練」と聞くと、どんなイメージがありますか？
厳しい訓練と誤解されがちですが、実際の訓練は、犬が楽しみながらできるよう遊びを通して行っています。そこで大事にしているのは「褒めること」。
訓練士も盲導犬ユーザー(※)も、犬との信頼関係を大切にしながら訓練に励みます。
今号では盲導犬の訓練についてご紹介します。
(※) 盲導犬ユーザー…盲導犬使用者のこと。以下、ユーザー。



衛生管理もユーザーの義務
シャンプーの仕方なども学びます

訓練の前半は、盲導犬協会に宿泊しながら、盲導犬との歩行訓練や指示語の出し方、犬の食事や排泄方法など、盲導犬と暮らす上で必要な基礎知識を学びます。
後半は、ユーザーの自宅近郊での現地訓練です。通勤や通学など、ユーザーが利用する頻度の高い場所や駅で訓練を行い、安全に歩けるようにしっかりと訓練をしていきます。

訓練士に聞いてみた!

犬が楽しく仕事をできるように、訓練士は工夫をしています。
日々盲導犬の訓練をしている訓練士に、盲導犬の訓練について聞いてみました。



訓練や育て方に決まった一つの正解があるわけはありません。常に、犬の行動を観察して、正解に近づけるよう工夫をしています。

犬が、楽しい・面白いと感じる訓練をすることで、犬によって、それぞれ性格が違うので、個々の犬の性格を見極め、その犬の持っている長所・短所を引き出しながら訓練します。

訓練犬と接するとき心がけていることは?



犬が「褒められて」「心地よい」と感じていることが大切だと考えているので、それぞれの犬に合わせて、触る力や速さ、体の部位、声などを変えています。また、褒めているときの犬の行動、雰囲気なども丁寧に観察して、どのように感じているのか、褒められていると感じているのか分析しています。



褒められることで犬が「この行動が正しい」と思い、自信を持って行動できることを大切にしています。

犬の一瞬を見逃さないようにタイミングがずれないよう褒めることも大切です。

犬を褒めるタイミングは、犬がするべきことをやろうとした時や、訓練士の期待した行動を犬がとった時です。

大切なのは双方向のコミュニケーション



大切なのは「褒める」こと



訓練は遊びを通して楽しみながら

「盲導犬の訓練は厳しい」と誤解されやすいのですが、決して厳しい訓練はしていません。
訓練士は、犬の好きなおもちゃを使うなど、工夫しながら犬とのコミュニケーションをとり訓練を行うので、私たちは楽しく遊びながら盲導犬としての仕事を覚えていきます。

大事なポイントは上手く指示と合った行動ができたら「Good(グッド)」とよく褒めること。
これを繰り返す中で、犬は「Good」と褒められることが楽しいことだと学習していきます。

訓練は厳しい?



個性も適性も大切に

盲導犬になるのは、「盲導犬に向いている」と適性を認められた犬のみ。訓練犬が10頭いれば、盲導犬になるのはその中の3〜4頭。訓練した犬が全て盲導犬になるわけではありません。

厳しいのは「訓練」ではなく、「盲導犬になるための基準」なのです。

盲導犬を進めていく中で、訓練犬の評価を定期的に行います。
犬の性格や動きをチェックし盲導犬に向いているかどうか、ユーザーと盲導犬の安全を守るかどうかを見極めます。

そして、訓練の状態と健康面で適性を認められた訓練犬が、視覚障害者との共同訓練に入ります。

盲導犬の適性チェック



二頭二頭に向き合いながら

盲導犬にならなかつた犬は、小学校やイベントなどの啓発活動でデモンストラクションをするPR犬として活躍したり、ボランティアの家庭でペットとして暮らすキャリアアセンシブ犬となるなど、別の道を歩みます。

一頭一頭にしつかりと向き合いながら、それぞれの犬に合った道を選ぶことを大切にしています。



盲導犬ユーザーからのメッセージ / ジーナいつもありがとうと感謝の日々



山下 由美さん&盲導犬ジーナ
(埼玉県)

「仕事をしたい」と思うようになり、白杖での通勤はハードルが高かったので盲導犬体験歩行に参加してみたところ、点字ブロックも関係なく歩け、階段も教えてくれ、「すごいな、盲導犬と歩けたらいいな」と思ったのがきっかけで盲導犬ユーザーになりました。



慣れなさも楽しみながら

ジーナと暮らすようになり、規則正しい生活をするようになりました。昼寝や夜更かしもしなくなり、お酒もほとんど飲まなくなりました。

盲導犬ユーザーになってまだ日も浅いので、食事や排泄の世話、ブラッシングなどまだ慣れておらず時間がかかるのですが、とても楽しいです。この慣れない感じ。はじめての育児を思い出します。

散歩ができる喜び

散歩をしているとき、盲導犬がいて良かったと思います。視覚障害者が外に出る事は危険が伴うので、外出は目的がある時だけだと思っていたし、散歩がしたいと思ってもなかなか周りに頼んだりできなかったのが、今、散歩ができることが嬉しくてたまりません。ジーナいつもありがとう。

一方で盲導犬の进店拒否も…

友人や家族と食事をしに行った時、盲導犬の进店を断られることが割と多くあり、他のお店を探していると、「私がいなければもうお店に入って食事をしているのになあ」と思うと悲しくなることがあります。

皆様へのメッセージ

盲導犬と出かけるようになって、お母さんがお子さんに「ワンちゃんお仕事だから、大きな声を出してはダメよ」と声をかけてくれたり、盲導犬のことをよく理解している方が多いなと感じます。これからもあたたかく見守っていただけたら嬉しいです。

そして道に迷っていたり、音声信号のない道路で困っている盲導犬ユーザーを見かけたら、どうか声をかけてください。その声かけにとっても安心すると思うので、どうぞよろしくをお願いします。



今日も楽しく一緒に歩こう!

パートナーとともに

共同訓練中、ユーザーには、パートナーの盲導犬と良好な関係を構築するために、「褒めることが大切」という指導を行っており、たくさん褒めるよう伝えていきます。

犬によって喜ぶポイントは様々なので、ユーザーには、その犬に合った褒め方を伝え、「犬に伝わるように」褒めることを意識してもらい、実践できるように訓練しています。



共同訓練を終え、盲導犬協会を卒業した後も、「褒めること」の大切さは変わりません。

普段の生活の中でも、盲導犬と歩くとき、指示通りに行動できたとき、うまく誘導できたとき、様々なタイミングで褒めます。そうして、さらに信頼関係を深めていくのです。

「Good」には「よくできたね」の意味だけでなく、「ありがとう」の感謝の気持ちも込められています。

パートナーの盲導犬が隣にいてくれるから、安全に、そして安心して自由の外へでかけることができます。一歩を踏み出す勇気をくれる存在であり、お互いが信頼できるパートナーです。



褒められると嬉しいね

全国の盲導犬へ 温かい応援をお願いします

ご協力方法

- 当連合会へ寄附をする
本誌挟み込みの郵便払込取扱票または銀行振込をご利用ください。
- DUETサポーターになる
継続的にご支援いただく制度です。詳しくは本誌裏表紙をご覧ください。
- 募金箱を設置する
お店等での設置にご協力をお願いします。詳しくは☎03-5367-9770までお電話ください!



「Good」を合言葉に、今日も安全に、そして楽しく、ユーザーと盲導犬はともに歩んでいきます。

わたしたちはこれからも、そのサポートを続けていきます。



皆様に支えられ

盲導犬はこんな一生を送ります



1 誕生

盲導犬に適した血統を持つ繁殖犬から生まれます。

2 生後2か月頃

パピーウォーカー（子犬を飼育するボランティア）の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。

3 訓練スタート

1歳になると、盲導犬協会に戻ってきて、約6～12ヶ月間、盲導犬になるための訓練を受け、その間に盲導犬としての適性が評価されます。

4 共同訓練

盲導犬としての適性が認められ、訓練を修了した犬は、視覚障害者との共同訓練に入ります。視覚障害者は、盲導犬との歩き方や世話の仕方を学びます。さらにユーザーとなる視覚障害者の生活エリアで歩行指導も受けれます。

5 共に歩く

ユーザーと盲導犬は互いに協力し、パートナーとしての絆を深めていきますが、ユニットとなった後も、必要に応じて盲導犬協会から盲導犬との生活や歩行のフォローアップが行われます。

6 ハーネスを外す日

盲導犬は10歳前後を目安に引退します。引退した盲導犬はボランティアの家で家族の一員として楽しく暮らしたり、育った協会で十分なケアを受けながら、最期まで皆に愛されて過ごします。

盲導犬と歩くユーザーに出会ったら

皆様への大切なお願い



盲導犬は工作中、**白または黄色のハーネス**をつけています。



無断で盲導犬やユーザーの写真、動画などを撮らないでください。

ユーザーは目の見えない、見えにくい方ですので、突然シャッター音がすると何を撮られているのか分からず不安になります。またユーザーが写り込む場合は本人のプライバシー侵害の恐れもありますし、カメラのシャッター音やフラッシュにより、盲導犬が仕事に集中できなくなる可能性もあります。

盲導犬の写真を撮りたい場合はユーザーに事前に声をかけ、了解をとってください。

ユーザーの方へ声をかけてください。

盲導犬を連れていても道に迷ったり、周囲の状況が分からずユーザー自身が不安になる場合があります。

ユーザーが困っている様子を見かけた際は、盲導犬にではなく、ユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」と声掛けをお願いします。

ハーネスをつけた盲導犬は「工作中」です。

盲導犬がハーネスをつけているときは、歩いている、いないにかかわらずさわったり、声をかけたりしないようにお願いします。

また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。

気が散ってユーザーの指示に集中できなくなってしまいます。

盲導犬におやつなどの食べ物をあげないでください。

盲導犬は、健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするために食事の時間・量も決まっており、犬の体質に合ったドッグフードを、ユーザーが与えています。

「かわいい」と思っても、食べ物や水を与えないでください。

都道府県別の盲導犬実働数 836頭^(※)

(※)全国盲導犬施設連合会に加盟していない育成団体の数字も含む

北海道…44	埼玉県…46	静岡県…31	鳥取県…4	佐賀県…5
青森県…6	千葉県…21	愛知県…35	島根県…12	長崎県…5
岩手県…7	東京都…97	岐阜県…8	岡山県…15	熊本県…5
宮城県…21	神奈川県…63	三重県…8	広島県…18	大分県…9
秋田県…11	新潟県…26	滋賀県…11	山口県…15	宮崎県…9
山形県…6	富山県…5	京都府…12	徳島県…6	鹿児島県…13
福島県…18	石川県…12	大阪府…53	香川県…7	沖縄県…8
茨城県…18	福井県…6	兵庫県…33	愛媛県…12	
栃木県…8	山梨県…15	奈良県…15	高知県…6	
群馬県…10	長野県…16	和歌山県…3	福岡県…22	

2023年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会盲導犬委員会
「2022年度盲導犬訓練施設年次報告書」より



募金箱設置・寄附協力企業

敬称略・あいうえお順

- アークランズ(株)
- (株)イトーヨーカ堂
- (株)エコス
- (株)銀座マギー
- ジェームス
- (株)セブン&アイ・フードシステムズ
- (株)たいらや
- (株)ダイエー
- フェリシモ基金事務局
- (株)フジ
- (株)ベルシステム
- (株)マスタ
- (株)明光ネットワークジャパン
- メットライフ生命保険(株)
- ユニー(株)
- (株)和真&和真フレンドショップ

以上の企業様のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、当連合会の活動は支えられ、運営されています。

皆様からお寄せいただく募金・寄附は、盲導犬無償貸与事業にかかる費用として役立てられる他、盲導犬を育てる訓練士の資格認定、全国的なイベントでの啓発活動など、盲導犬事業のための、共通に関わる費用として、活用させていただきます。

パトラッシュの募金箱
全国各地で活躍中!



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

パトラッシュ基金

全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っています。

詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社
〒104-0061
東京都中央区銀座7-13-20 銀座THビル5階

公式サイト www.nippon-animation.co.jp/pattrash/



補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を!

2022年、身体障害者補助犬法(※)は成立から20周年を迎えました。

しかしながら、盲導犬同伴を理由に、施設や乗り物の利用を断られるケースがまだまだ後を絶ちません。2020年に実施した当連合会の全国調査では盲導犬受け入れ拒否を経験したユーザーは全体の5割を超えていました。

そこで、当連合会では一般のお客様に補助犬に対する理解を深めていただくとともに、補助犬ユーザーの方々安心して各施設を利用できることを趣旨とした「補助犬同伴可ステッカー」を作成し、お店の入口等に貼っていただけるよう無償で配布しています。

「補助犬同伴可ステッカー」についてのお問い合わせは全国盲導犬施設連合会にお電話(03-5367-9770)、もしくは当連合会ホームページをご覧ください。

(※)施設や乗り物等に補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を同伴することができるようになった法律



〈補助犬同伴可ステッカー〉

メットライフ生命は1995年以来、
盲導犬育成活動を支援しています。



MetLife
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。

www.metlife.co.jp

2023
(令和5)
年度

全国盲導犬施設連合会 主な活動報告



認定NPO法人全国盲導犬施設連合会には、日本全国の国家公安委員会の指定を受けた盲導犬協会8団体(P13～P14参照)が加盟しています。皆様からお寄せいただいた募金・寄附は日本全国の盲導犬育成と普及の為に、大切に活用させていただきました。

「盲導犬普及啓発活動」を日本全国で46回実施

多くの皆様へ盲導犬について知ってもらうために全国各地へ向かい、盲導犬の仕事や訓練方法を紹介するイベントを実施しました。(主に募金箱設置店や寄附協力企業のご協力により開催)



ダイエー補助犬ふれあい教室
(株式会社ダイエー)



盲導犬ふれあい広場
(株式会社フジ)

イベント情報は公式Facebookに掲載しています!



パトラッシュ基金 ～活動報告～



2023年度も、インターネット募金、各種イベントでの募金活動を実施しました。(写真は東京都多摩市 せいせきカワマチ誕生記念イベントにて) 2010年から始まったパトラッシュ基金は、現在までに4千万円を超える金額を皆様よりお寄せ頂いております。ご協力頂いた皆様へ心よりお礼申し上げます。

Yahoo!ネット募金 パトラッシュ

検索

<https://donation.yahoo.co.jp/detail/38230001/>



盲導犬受入れの促進

●補助犬同伴可ステッカーの作成配布

盲導犬をはじめ補助犬ユーザーの受け入れをスムーズにするため、店舗入口等に貼っていただく「補助犬同伴可ステッカー」を無償で配布しました。

●「盲導犬ハンドブック」の配布

視覚障害者が盲導犬同伴で様々な施設を利用する際、受け入れ側の施設の皆様がどのように受け入れればよいかをイラスト付きでまとめた「盲導犬ハンドブック」を配布しました。

施設や店舗へ無償で配布しておりますので、ご希望の方は当連合会までお気軽にお問い合わせください。

補助犬は一緒に入れます!



(補助犬同伴可ステッカー)



(盲導犬ハンドブック)

盲導犬普及を進める広報誌を発行



●「DUET32号」とポスターを発行(年1回)

フォローアップを特集。募金箱と一緒に常設する他、各種イベントで配布しました

●「盲導犬情報」を発行(年2回)

盲導犬ユーザー、点字図書館、行政などへ盲導犬に関する情報を提供する為の冊子です。

点字版、CD(音声デジター)版の他、墨字(活字)版も発行しています。



全国盲導犬施設連合会

ウェブサイトでも閲覧可能

全国盲導犬連合会

検索



盲導犬育成・フォローアップ費用への助成



無償で貸与している盲導犬の育成費用に対する自治体からの助成金には頭数・金額に限りがあるため、盲導犬協会が、視覚障害者の方へ盲導犬を貸与する場合、全国盲導犬施設連合会から一部補助として、1頭ごとに200万円の助成・補助を実施しています。(2023年度は8頭分を助成・補助) さらに、昨年度からは、当連合会加盟の盲導犬協会が行っているユーザーと盲導犬へのフォローアップ費用についても助成を実施しています。

盲導犬訓練士・歩行指導員の資格認定



全国どこの盲導犬協会でもほぼ同じレベルの盲導犬を輩出できるように、盲導犬候補犬を訓練する「盲導犬訓練士」と、視覚障害者へ盲導犬との歩き方や日々の世話の方法などを指導する「盲導犬歩行指導員」の資格認定を行っています。筆記試験・実技審査の結果、2023年度は訓練士6名と歩行指導員3名の資格を認定しました。

加盟施設職員相互研修事業の実施



各盲導犬協会の担当職員が中心となり、盲導犬事業について研修テーマを選定し、相互研修事業を7回実施。パピープログラムや訓練、犬舎管理など、研修テーマは多岐にわたりました。担当者が日頃抱えている課題を共有し、協会の垣根を超えて互いの知識を学びあえる貴重な機会となりました。

皆様のご支援・ご協力で2023年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

国家公安委員会指定 加盟施設一覽



認定NPO法人

全国盲導犬施設連合会

HPアドレス: www.gd-rengokai.jp
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法 HPアドレス: kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

世界的にも稀な木造犬舎「木香テラス」では、より家庭に近い環境の中で盲導犬を育成しています。木香テラスで育った盲導犬とともに、視覚障害者が安全に歩行し、安心して暮らせるよう、盲導犬の育成、社会への啓発活動に積極的に取り組んでいます。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫 HPアドレス: www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

日本ライトハウスは目の見えない・見えにくい方のための総合福祉施設として日本で初めてリハビリテーションセンターを開設しました。法人事業は1922年に点字図書の作成から始まり、2022年に創業100周年を迎えました。盲導犬訓練所は2020年に50周年を迎えました。これからも視覚障害者がその人に合った方法で社会参加ができる支援を目指します。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 堀口 清隆 HPアドレス: www.moudouken.org

神戸総合 〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24
訓練センター TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483
KLCオフィス 〒652-0802 兵庫県神戸市兵庫区水木通2丁目
1番9号 中山記念会館3F
TEL 078-521-0081 FAX 078-521-0082

視覚障害者が笑顔で安全に歩けるように…従業員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組み、盲導犬使用者それぞれのニーズに応じたサービスを提供しております。また、社会全体へ視覚障害者や盲導犬への理解を深めて頂くために、地域の小・中学校や商業施設での啓発活動にも力を注いでいます。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 中村 博文 HPアドレス: www.fgd.or.jp

〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様に快適にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 伊藤 信賢 HPアドレス: www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は、雪道歩行訓練、利用者のニーズに応じた生活訓練、老犬ホームの運営など、視覚障がい者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

理事長 眞尾 博 HPアドレス: www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285番地
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。主に関東一円で、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行訓練も行っております。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス: www.moudouken.net

仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990
神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599
日本盲導犬総合センター 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030
島根あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139
広島事務所 〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5-11-22
TEL 082-554-9500 FAX 082-554-9501
東京事務所 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

1967年8月に厚生省(設立当時の)認可を受け、日本で最初に設立された盲導犬育成団体です。全国に4か所の訓練センターを有し、視覚障害者の自立と社会参加を推進するため、盲導犬の育成・訓練、リハビリテーション訓練などを行い、視覚障害者福祉の増進と社会のバリアフリー促進に寄与しています。



社会福祉法人 中部盲導犬協会

理事長 伊藤 賛治 HPアドレス: www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋市中港区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

